

学校通信
白 檀 南 だ よ り
 檀原市立白檀南小学校
 2023年12月20日
 ☎ (27) 5488 Fax (27) 5582



花Voさんたちと花植

いろいろと体験や学習ができた二学期

もうすぐ2学期も終わり、冬休みを迎える頃となりました。先日、今年の漢字が京都清水寺で発表がありました。今年は「税」という字が選ばれました。選ばれた理由に一年を通して、国会での論議、インボイス制度等があり、税の適正な処理が見直しされた年だという事です。一人一人の税金が街や地域のためのものであり、よりよい生活に活かされることを願うのでこの漢字にされていました。

去年もこういう記事を書きました。どのご家庭も当然ながら漢字一字で語る事ができないくらい、さまざまな出来事、うれしいこと、悲しいことがあったことかと思えます。一年を振り返るとよく世間でやるような10大ニュースが仕上がるのかと思えます。その中で、できたこと、できなかったことをこの年の瀬に子どもたちとともに考えていただけたらと思えます。できれば「一年の計は元旦にあり」ということわざ通り、子どもたちに一学期、二学期常に言い続けている「なりたい自分」づくりに活かせるような目標や抱負になってくれればいいなあと思っています。



今年度の2学期は、学校行事や学年行事等々の学習内容や活動範囲が、コロナ禍で有効であった学習方法を取り入れながら、従来の学習にもどしていくという取り組みになりました。保護者の皆様や地域の皆様に、ご理解とご協力をいただいた結果であります。ありがとうございました。



運動会は、晴天に恵まれ大勢の皆様方にご観覧していただきました。久しぶりに PTA 競技も盛り込んだ楽しい運動会となりました。後で分かったことですが、最後の運動会と言うこともあり、もと卒業生の保護者の皆様や支えていただいている地域の皆様方に多数来ていただけてもらえたようで、本当にありがたいことです。

芸術鑑賞会は、おはなしワークショップ『ジャックと豆の木』でした。ワークショップですので児童も教員も参加型の鑑賞会で、「葦笛の踊り」や「四季」「BIG MAN」等13曲にかけ声や動作を入れながら、楽しくできました。演奏終了後、劇団の人に「なりたい自分」ってありますかと質問を聞いてみました。すると「みんなに楽しんでもらえる、幸せになってもらえるような音楽活動ができる人になりたい」と答えてもらえました。これも自分づくりの一助になればと思います。



休日参観・ふれあい広場では、多くの方々に学習を参観いただきありがとうございました。その後のふれあい広場では、前会長がずっと火の守りをしながら、午前中には1年生が掘ったサツマイモを焼き(後で1年生からお裾分けもありました)、ふれあい広場の最中にはフランクフルトを焼いておられました。そのほかのPTAさんたちも出店していただき、「千本引き」やボーリング、ボールすくい等々どの店にも子どもたちの楽しい、うれしい声が響いていました。何よりも保護者の皆様も地域の皆様もたくさん来ていただけて、交流もあり本来の目的が達成されたことに大変うれしく思っています。



来学期3月20日にも閉校イベントとして同様に取り組みを進めているところです。子どもたちの思いも願いもひっくるめて同じように交流できたらと思っています。

学びシェアを昨年度以上に範囲を広げて実施いたしました。今年度各学年で学んだことをクイズ形式にして学びを共有しました。小班に分けて自分たちが学習・聞き取り・活動を通して学んだことを、他の人に伝えたい・教えたいという伝える機会になると、校区内マップを見ながら、小班で判断し、問題にチャレンジす

る活動です。自分たちが住んでいる地域の方と少しでも会話でつながる機会や、あいさつができる機会になるように取り組みました。どの班も縦割り小班で楽しく回れたことと思います。当日立哨にお手伝いいただいた保護者の皆様ありがとうございました。

檀原・高市子ども音楽会が、久しぶりに檀原文化会館で実施されました。今回は、学校から個人で持参できる楽器で合奏、合唱となりました。大きなホールでの演奏は、とても緊張したことかと思ひます。休日参観ではそのプレ発表を見ていただきましたが、当日は本当に堂々と、そし



ていい演奏と歌声を披露していました。他校の先生からもいい声出ていますねと褒めていただき、自分のことのようにうれしくなりました。この経験もいつか役に立つことと思ひます。

各学年の取り組みは、学級通信や学年便りでもあったかと思ひます。「秋みつけ」であつたり、消防署や警察をよんで学習したり、聴覚にハンディーを持つ方々からお話を聞いたり、「木育」で作品を作つたり、韓国文化や楽器に触れたり、稲刈り、脱穀等様々な人と学びを通してどの子どもたちも、知識・技能を学び取り、ふれあいを通してつながりが深まったことと思ひます。



一日警察署長 高橋礼華さん(リオオリンピックバドミントンダブルス金メダリスト)来校

檀原警察署より、一日警察署長として学校へ来ていただき、交通安全/防犯のお話をしてもらいました。

その後、バドミントン講習をしてもらえました。ラケットの握り方から、打ち方の素振りも交えて教えていただき、シャトルを投げてもらって打ち返したり、代表者だけになりましたが、ラリーもしてもらったりできました。

始め、私の高橋さんの紹介の中で、この学校の卒業生なので卒業文集を本人の許可を得て紹介してもらいました。その文章には、夢としてオリンピックに出ること、勝つても負けても諦めないで最後までいろいろな人とバドミントンをする事、そして、その後は若い子どもたちにバドミントンを教えたいと書いておられ、高橋さん本人もびっくりするくらい「そんなことかいてたんやあ」と今の自分が、その通りにしていることにマネージャーさんも驚いておられました。子どもたちにとつても大人であっても、『夢』をつくること、またそれに向かうことって容易なことではありません。しかし「こうなりたい」「こうしてみたい」

はできると思ひます。そのためには、自分ができる技であつたり心構えをもつたりすることが必要となります。それを身に付けられるよう、またそれにつながる学力や考え方を持つて欲しいと思ひます。「なりたい自分」づくりは、これから子どもたちが迎える社会には必ず必要なものとなります。今回の高橋さんの文集からも、学べるものがたくさんあることを子どもたちに再度、全校朝会でも紹介しました。



学校評価アンケート(よりよい学校にするために)にご協力ありがとうございました。おかげさまで多数のご回答をいただきました。来年度統合校へ向け、一つ一つに総括しながら来年度に向けて進んで行きたいと思ひます。このアンケート結果やそれに向けての方向性など No.7 でご報告いたします。